

アヤベ

## 永井織布の紡績事業譲受

### 設備・人材一部継承で業容拡大

個性派紡績のアヤベ(大阪市中央区)はこのほど、2016年末で紡績事業から撤退した永井織布(大阪府岸和田市)の事業を譲り受けた。設備と人材の一部も継承し、永井織布の綿糸販売先に対して今後はアヤベが供給を継続する。永井織布の紡績ノウハウも同時に継承したことから、アヤベが保有する設備・技術と融合することで新たな商品開発にも力が入れる。

永井織布は、各種ネット・スラブ系を得意とするファンシーヤーン専門紡績。特にデニム用ムラ系はセルビッチデニム用途を中心に根強い人気があり、最近ではタオル用途や久留米紬向けでも実績がある。

永井織布の紡績事業撤

退に伴い、アヤベが事業を譲り受けた。紡績設備の一部をアヤベの九州工場(鹿児島県曾於市)に既に移設し、永井織布で工場長兼営業部長を務めた池原正純氏がアヤベに移籍する。今後、永井織布から継承した商権に関

しては池原氏が営業を担当する。2月末ごろまでは永井織布で生産した在庫を販売する予定だが、アヤベ九州工場での生産も既にスタートしており、在庫の消化が進み次第、アヤベでの生産品の販売に切

り替える。今回の事業譲受に関してアヤベの松田有右社長は「永井織布が保有していた設備だけでなく、紡績レジンなど技術ノウハウも全て継承した。生産移管も順調に進んでいく。商権を継承することで業容を拡大すると同時に、当社がこれまで蓄積してきた紡績技術と永井織布が持っていた紡績ノウハウを融合した新しいモノ作りにも挑戦する」と話す。